

# 子どもたちの笑顔 みんなの宝

## むし歯の多い子どもと保護者の養育状況の関係

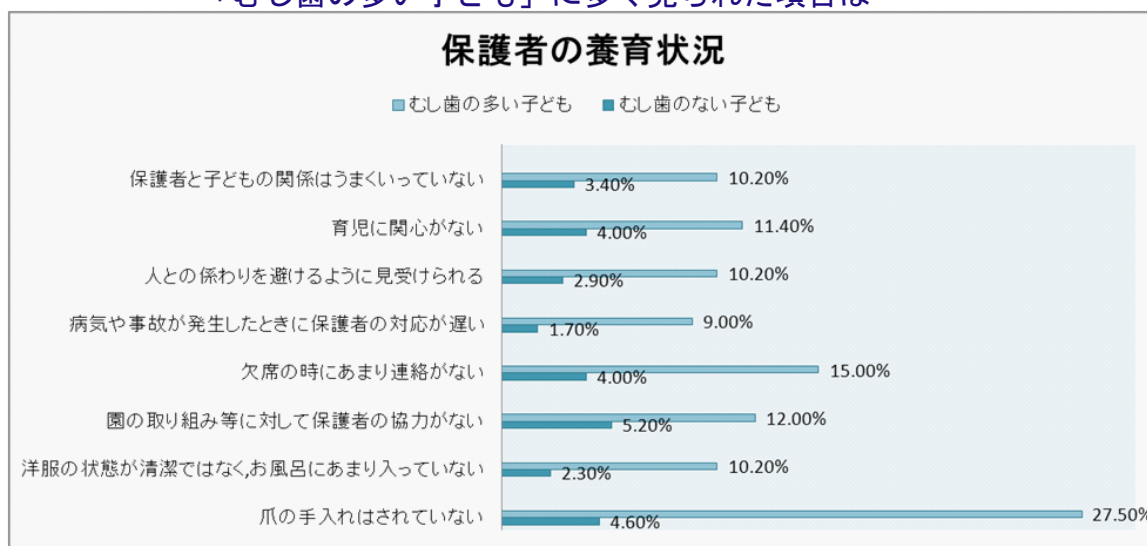
平成23年にアンケート調査を行いました

広島県内37保育所2503人の園児について、歯科健康診断結果をもとに、167人の「むし歯の多い子ども」と174人の「むし歯のない子ども」を抽出しました。

そして、担当の保育士に対して、子どもたちの家庭環境、生活習慣、日頃保育の中で感じている園児の様子、保護者の養育姿勢や保育所との係わり状況などについて、アンケート調査を行い、回答を比較検討しました。

その結果、養育状況に関する観察項目の11項目中9項目で、「むし歯の多い子ども」と「むし歯のない子ども」との間に、統計学的な有意差を認めました。

「むし歯の多い子ども」に多く見られた項目は…

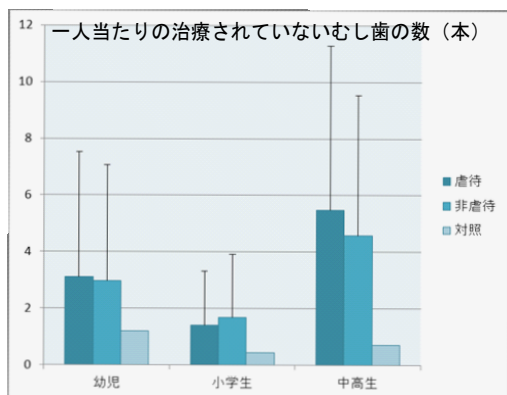


平成23年度8020運動推進特別事業「保育所(園)における歯科保健実態調査事業」報告書(改)

### 虐待の早期発見と予防のために

虐待を受けている子どもは、他の子どもよりもむし歯が多く、また、治療されていない場合も多い状況があります。さらには、むし歯を予防する生活習慣が身につけていないといわれています。

歯・お口の中の状態を通じて、気付き情報を保育関係者と共有し、被虐待児童の早期発見や予防に活用しましょう。



●一時保護された幼児、小学生、中高生の治療されていないむし歯は多く、虐待を理由に入所した児童のむし歯も多かったです。

●虐待以外(非虐待)の児童もむし歯が多く、養育環境が口腔状態を反映することがわかります。

一時保護された被虐待児童の口腔内状況について  
小児歯科学雑誌, 50:237-242, 2012(改)

一般社団法人 広島県歯科医師会

<http://www.hpda.or.jp/>



広島県歯科医師会イメージキャラクター  
「はっぼくん」

# 子どもたちの笑顔 みんなの宝

## 子育て支援 むし歯が放置されている理由

平成23年にアンケート調査を行いました

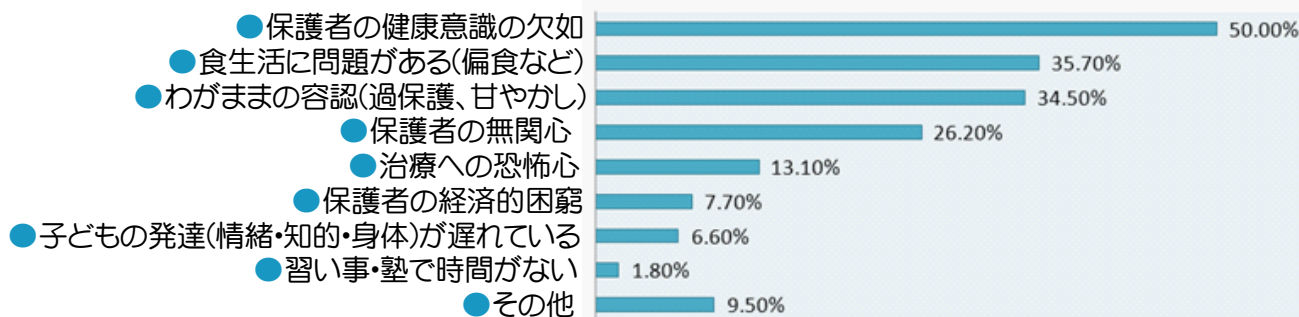
広島県内37保育所2503人の園児について、歯科健康診断結果をもとに、167人の「むし歯の多い子ども」と174人の「むし歯のない子ども」を抽出しました。

そして、担当の保育士に対して、子どもたちの家庭環境、生活習慣、日頃保育の中で感じている園児の様子、保護者の養育姿勢や保育所との係わり状況などについて、アンケート調査を行い、回答を比較検討しました。

その中で、「むし歯の多い子ども」のむし歯が放置されている理由については、以下の通りでした。

### むし歯が放置されている理由

■ 保育士が回答した割合(複数回答)



平成23年度8020運動推進特別事業「保育所(園)における歯科保健実態調査事業」報告書(改)

### 子育て不安がもたらすもの

保育所では、歯科健康診断の結果をもとに歯・口の疾病治療を勧奨していただいておりますが、それに応じない保護者も見受けられ、対応に苦慮されていることと思います。

「保護者の健康意識の欠如」、「過保護や甘やかしなどのわがままの容認」、「保護者の無関心」など、積極的な子育ての姿勢がうかがえないようなケースは、子育て不安の現われかもしれません。このような状況が深刻化すると、ネグレクト(育児放棄)につながることも心配されます。

子どもの健康に対する保護者の関心の欠如を「医療ネグレクト」と呼び、特にむし歯が多発しているにもかかわらず、適切に医療機関に連れて行かず放置することを「デンタルネグレクト」といいます。これも虐待のひとつであると考えられています。

### 子どもの健康を支える周りの人達の役割

小さな子どもたちは、自分自身で口腔環境を整えることができません。保護者が中心となり、養育をサポートする立場の関係者が、子どもの歯・口の健康づくりのために、役割を分担しましょう。

子育ての中のすべての保護者が、自分自身の健康意識を向上させたり、子どもの口の中に関心を持つことが大切です。

みんなで子育て不安の解消などに取り組んでいきましょう。

一般社団法人 広島県歯科医師会

<http://www.hpda.or.jp/>



広島県歯科医師会イメージキャラクター  
「はっぼくん」